

## 平成 28 年度第 4 回豊田市図書館協議会 議事録

日 時：平成 29 年 3 月 14 日(火)午後 1 時 30 分～午後 2 時 50 分

場 所：豊田市中心図書館 6 階 多目的ホール

出席者：委 員 9 名

事務局 6 名

指定管理者 3 名

### 【開会】

(1) 平成 28 年度の運営状況について

事務局：(資料説明)

委 員：いろいろ事業を行っても、利用減少は止められなかったということですか。

事務局：数字だけで言いますと、その通りです。ただし、いろいろと事業を行ったことで一定の効果はありました。

委 員：事業などについて、企画はどのように行いますか。また、個別に効果の測定はできるのでしょうか。

事務局：企画については、今回「都心のにぎわい創出事業」として挙げたものに関しては、図書館単独というよりまちなかを盛り上げていくものです。事業によって他課と協力して行います。展示は季節にあった内容を司書が中心となって企画します。効果については、展示の場合は展示資料が何点貸出されたかという統計は取っています。

委 員：中央図書館は利用が減っていますが、ネットワーク館は貸出者数が増え、貸出点数は横ばいとなっています。これについて分析をされていますか。

事務局：原因の一つとして、中央館に来なくてもWEBでリクエストができ、ネット館で受取・返却ができること、また、そのことが周知されてきたことがあるのではないかと思います。

委 員：利用の減少については単に時代の流れと思わず、原因を分析すべきだと思います。

事務局：どの地区の人がどのように利用しているかということを昨年度から調査しています。昨年確認したところでは、13～15%が市外からの利用者でした。名鉄線沿いの他市の図書館が新しくなったことなどの影響も多少はあるかと思います。ただ、利

用減少については、現在はやや歯止めがかかっている状況ですが、やはり苦戦しています。現在の事業で、数字として思うような成果は出ていませんが、引き続き他と連携し、力を入れていくべきと思っています。

委員：児童の団体での見学・貸出などは行っていますか。ネットワーク館ではどうでしょうか。

事務局：中央館では行っています。ネットワーク館でも行っているところもあるようです。

委員：図書館へ入るのにハードルを感じる人もいます。利用者数を増やすだけでなく、公共図書館を利用する子どもを育てることも大切だと思います。

委員：来館者数はどのようにカウントしていますか。

事務局：図書館入口にあるカウントシステムで数えています。

委員：新刊図書がどれくらい借りられたのか分かるような仕組みがあるといいと思いますが、難しいでしょうか。

事務局：機械的には難しいですが、状況を見て確認することは可能かと思います。

委員：資料にある事業の1～5を見ましたが、とてもよいものでした。資料の中に展示の実績表がありますが、これは年度当初に予定として作成されるのでしょうか。

事務局：年度当初に計画を作成し、状況によって変更しながら展示を行っています。

委員：普段図書館を利用している人は、来館すれば展示などを見られますが、そうでない人に関心を持ってもらう手立てがあればよいと思います。もっとホームページなどでアピールをされてはどうでしょうか。

委員：こども図書室の利用減少の理由について、システム導入によりどこでも資料の返却ができるようになったことが挙げられましたが、他に原因はないでしょうか。

事務局：こども図書室の持ち味として、対面で本をすすめるということがあります。これまでは、返却だけのつもりで来た方が、カウンターの職員にすすめられた本を借りて帰る、ということが頻繁にあったのではないかと思います。こども図書室に来てくれれば、その人にあった本をすすめることができます。今後は催し物などで、こども図書室に来てもらうきっかけづくりが必要と考えます。

委員：こども図書室は月曜日のほか火曜日も休みですが、間違えて火曜日に返却に来てしまい、隣の高橋交流館で返却して帰ってしまう方がよくあるようです。ただ、利用減少も年が明けてから少し盛り返してきました。来年度はもう少し期待が持てるのではないかと思います。

委員：こども図書室で作った工作を、こども園で園児が見せてくれることがあります。本の貸出・返却の際にふれあいがあるのはとてもいいことだと思います。

(2) 平成29年度の運営について

事務局：(資料説明)

指定管理者：(資料説明)

委員：4月から図書館スタッフはどのような体制になりますか。

事務局：館長、副館長2名のほかに主任担当者、サブチーフ、一般スタッフで計72名を予定しています。

委員：現在図書館に関わっている人はいったん抜け、新たな体制となるということですか。

事務局：ボランティアや特別任用職員の一部は残ります。また、講座の講師などはそのままお願いする方もあると思います。

委員：郷土史のことなどは地元の方でないと対応が難しいのではと思います。

指定管理者：助言をいただきながらやっていければと思います。

委員：今年度まで勤務された方で、継続して図書館流通センターに入られる方もありますか。

事務局：あります。そういう方の力を借りていきます。また、県内の受託館から経験者を集めています。

委員：新聞にこの図書館のことが出ていて、図書館管理課の機能が問題だと書いてありました。現在の運営でも、見えないところで市の職員がより良い図書館にしようと努力しています。その思いも受け継いでほしいと思います。

事務局：業務引継に時間をかけ、しっかりと行っています。管理課は管理というより、TRCとボランティアの力をうまく融合させることが役割だと思っています。

委員：図書館管理課の人数はどれくらいですか。

事務局：内示が出るまで確実なことは分かりませんが、特別任用職員も含めて10名程度となる予定です。

委員：図書館管理課の業務内容はどのようなものですか。

事務局：年度当初の基本計画、図書館運営のたたき台を作ることなど、行政としての役割を果たします。他に、選書・除籍の決定や、来年度はICタグシステムに関わる改修などの業務を行います。また、教員を配置し、学校等との連携をしっかりと行っていきます。

委員：TRCは、こういった「図書館管理課」が存在するケースは初めてですか。

指定管理者：どの館でもこちらが単独で進めることはなく、自治体と協議しながら運営していますが、図書館管理課まで設置しているところはありません。

委員：ここのボランティアの質は県内随一であり、これは図書館の支援によるものでもあります。ボランティアを大事にする図書館であってほしいと思います。

委員：4月からの移行に際して、休館はされますか。また、これまでにない事業など

の計画はあるのでしょうか。

指定管理者：休館は致しません。

事務局：事業については、指定管理者が持っているノウハウを活かし、いろいろ工夫してもらえることと思います。

委員：今後、利用状況の分析などは TRC が行いますか。

事務局：TRC と図書館管理課が連携して行います。来館者アンケートなども予定しています。

委員：学校の立場として、図書館管理課への教員配置は心強いです。私の勤める学校の学区は交流館なども遠く、子どもが本に触れる場所が学校図書館しかありません。子どもの読書活動をどう支えていくことができるかに期待します。

委員：子どもの声が騒がしくても問題ない部屋を作ると、親子連れが使いやすくなります。

委員：指定管理者制度がうまくいかどうかは、優秀な司書が長く勤めてくれることにかかっていると思います。ぜひ豊田市に優秀な人材をとどめていただきたいです。ボランティアの活動なども素晴らしいので、さらに良くなっていくよう努めてほしいと思います。

【閉会】